

友好祭

No.2

57.5.16

東京中央郵便局 私書箱
第956号
第6回世界青年学生平和友好祭
実行委員会
電話 (3)1679

代表配分等決定

第三回実行委開かる

第三回日本実行委員会は五月七日、中央、地方代表六十名の出席のもとに愛媛第二会館で開かれた。

この日は青森、新潟、福島、石川、兵庫、茨城、宮城、群馬、埼玉、神奈川、富山、岡山、長野、東京の十四都府県代表者が参加して熱心な討議がおこなわれた。運動のすすめ方については、第一回の実行委員会できめられたように、この運動を軍する代表派遣に終わらせたい意に、それと並んで産業界や地域での青年学生との具体的な問題と結合してより多くの青年の固での運動としていくこと、そのために産業界青年の話しあいや地域ごとの交流を積極的にすすめていくことがあらためて確認された。

当日きめられた事項は次のとおりである。(第三回実行委員会以右の常任実行委員会できめられたことも含む)

一、代表の配分

- (一) 通訳 (三十名) 代表田事務局 (五名) 三五名
- (二) 文化芸術代表 一〇〇名
- (三) 中央団体のタテワリ 一三〇名
- (四) 地方代表 二三五名

計 五〇〇名

(一)は今右具体化されるが(四)は今右の運動をすすめる上に一日も早く決定されることかのをまじいので第一次調整をかねて次のよう配分案がつくられた。

(三) 中央団体のタテワリ

- 労働 二五名
 - 農村 四〇名
 - 学生 二〇名
 - その他 四五名
- 合計 一三〇名

確認事項 中央のタテワリで地方から選ばれる代表は必ずそれと並んで都道府県実行委員会に参加して地方での運動の発展に一致して協力する。

(四) 地方代表

- 北海道 十名
- 東北 二八名 (青森、秋田、岩手、宮城、山形、福島)
- 関東 二八名 (群馬、茨城、千葉、栃木、神奈川、埼玉、山梨)
- 東京 四五名
- 北陸 三五名 (新潟、富山、石川、福井、長野)
- 東海 十名 (三重、岐阜、愛知、静岡)
- 近畿 八名 (兵庫、滋賀、奈良、和歌山)

- 大阪 十名
 - 京都 五名
 - 中国 二十名 (山口、岡山、鳥取、広島、香取)
 - 四国 八名
 - 九州 十五名
- 計 二二二名

この案は数時間にとわたる。配分の方法の討議の末、取否の解決策として常任実行委員会及び各ブロック代表によつて協議立案され、第三回実行委員会での討議を経て承認されたものである。

立案にあつては、第三回実行委員会までの全国各地の運動の進行状況が詳細に検討され結果、すでに具体的に運動がすすんでいる地方や、実行委員会に出席して討議に参加している地方にはある程度の優先性がみとめられた上、第一回実行委員会の決定にしたがい調整されたものである。

従つて各県への配分はそれと並んでブロックの間で話し合つてきめられる。

但しこの配分案は最終的なものでなく、今後変更が予想されるが最右の各県への配分は来る二五日の第四回日本実行委員会で行われる。

各ブロックは五月十五日までに県別配分数を中央実行委員会報告されたい。

二十四日までに中央実行委員会に何の連絡もない、府県の配分人員は全部中央へひきあげて第四回実行委員会で再配分しますから御了承下さい。

尚前記配分中残十三名は予備として地方配分にまわされる。

二、代表の受付

- (一) 代表は五月十五日から五月三十一日まで受付ける止むをえぬ事情があつて三十一日までに決定されたい場合は中央実行委員会の承認を事前に得て下さいそれ以外には五月三十一日限り受付けません。

(二) 地方代表は中央実行委員会が確認した都道府県実行委員会を通じてのみ受付ける。(地方実行委員会がつかない府県の代表受付に関しては中央実行委員会が責任をもつて処理する)

(三) 中央団体タテワリの代表(労働、学生その他)及び文化芸術代表は各部門の責任団体を通じて受付ける。

(四) 通訳代表田事務局は中央実行委員会が決定する。

(五) 都道府県実行委員会及び各部門責任団体は、それと並んで地方及び、部門に配布された人員の枠内で代表を決め、中央実行委員会に申し込むこと(代表

教がワクを上廻る場合は受付けない
その際別項の聖證書に六、四〇〇円（中央実行委員
会負担金三、〇〇〇円渡航申請費用三、四〇〇円）を
必ずそえること、

尚、都道府県実行委員会が中央実行委員会に納入
する分相金（四）八月計二、五〇〇円）を納めてい
ない場合はその残額も送ること。
受領と同時に中央実行委員会は代表受付書を交付
する

四、各代表はこの外に渡航費用の一部（一万円以上）
を五月三十一日までに残りの金額を六月十五日ま
でに中央実行委員会に納入すること。

五、代表は五月末までに戸籍抄本一通、健康診断書一
通、写真十五枚（五×五センチ、又は名刺版、六
月以内にさつえいのもの、黒帽、正面、上半身、
背景ナシ）を用意し中央へ送付のこと

六、中央負担金三、〇〇〇円は旅券申請を行けなくなら
ず、場合でも返却しない。

七、以上の期日は必ず厳守のこと。
代表申込書は別紙のとおり。

三、世界青年学生平和集会について（略）

四、代表団敬送集会について（略）

五、地方実行委員会への要請

モスクワ祭典へ五〇〇人の代表を送る我々の運動は
前途に非難困難をしかえてあります。中央実行委
会は全力をあげてこの障害をとりのぞくために努力
しておりますが各地方でもあらゆる階層の人々の支
持と協力をえてこれを成功させるためがんばつて下
さい。

とくに出身地の国会議員や県知事、県市町村議員に
中央部に働きかけてもらうことは重要です。
中央実行委員会と密接に連絡をとりあつてすすめま
すよう。

六、代表団の持参するお土産について

日本実行委員は日本代表団の統一したお土産として
次のパンフレットとバッジをきめる。

とくに今回の祭典に世界青年学生平和集会の開催を
提案する日本として日本代表団が原水爆の実験禁止
と今石の平和運動の発展により多く貢献することが
できるように、ヒロシマ長崎以来の日本の平和運動
と原水爆実験が人類にあたえる影響、被害について
科学的な立場で全世界の青年に訴えるパンフ（英文）
を作成する。又世界の青年と交流し、友情を交歓し
あうために日本代表団としてのバッジをつくる。

以上のことが決定され、ただちに予算措置を講じて
具体的に検討することになった。この予算は実行委
員会予算とはきりはなし、代表団の予算とするが、
詳細はあつてしらすれる。

七、実行委員会の確認（略）

八、地方実行委員会の分相金について
中央の常任実行委員会は五〇〇〇円（四）八月各
一〇〇〇円）実行団体は二、五〇〇円（四）八月各
五〇〇円）を納入することがきめられているが、各
都道府県実行委員会は二、五〇〇円（四）八月各
だけ早く中央実行委員会に納めて頂きたい。
代表申込の際には現金全額を必ずそえて下さい。

第四回日本実行委員会を次のように用きます
一、日時 五月二十五日 午前十時（）五時
二、場所 敬誠院第三会館 第一会議室
地方実行委員会（準備中の所も）もできるに
け沢山参加して下さい

日本実行委員会への地方からの連絡は今右記え
下さい、早くて便利です。

東京中央郵便局私書箱、第九五六号
第六回世界青年学生平和友好祭

日本実行委員会事務局
（直通電話は 23）一六七九番です）

資料一、

地方実行委員会（準備会）及連絡先
北海道—北海道札幌市北四西四防協会館内

青森—青森市浦町字橋本五一教育会館内県教組
青年部友村友好祭青森実行委員会

秋田—秋田県秋田市東根小屋町秋田総務局内
全林野秋田地本

宮城—宮城県仙台市北七番町一二七
宮教組会館内宮城県青年婦人会談

山形—山形県酒田市酒田市役所内
自治労酒田市取組組合

福島—福島県郡山市清水台八四、今泉正顕

群馬—群馬県藤岡市みどり市二二八、栗崎幹雄
群馬県群馬郡岩鼻村岩鼻二二九

茨城—茨城県水戸市南町四丁目、龜印製菓内
平和友好祭茨城実行委員会

栃木—栃木県宇都宮市戸祭町一四九三、稻葉誠一
神奈川県—横浜市中区浦町二の四六、坂江清

東京—港区芝田村町四の二二、青年文化協会内
東京実行委員会

埼玉—大宮市榎木町国鉄労組大宮工場受付
埼玉県青年婦人協議会

新潟—新潟県新潟市流依場宮浦、新潟県労協青年部
試会内

富山—富山県富山市永楽町四、経田彌吉郎、
富山市石金二〇不二越労組友村富山県実行委。

石川—金沢市殿町五二、日ソ石川支部内
平和友好会石川県実行委員会事務局
長野—長野市泉野町社会会館内

三車—三重県津市櫻橋通教育会館内
平和友好会三車準備会

静岡—静岡市人宿町一の五日ソ静岡支部
兵庫—神戸市生田区下山手通七丁目一協同工業会館
内 総評兵庫県地評青年部

京都—京都市左京区川端通り丸太町上ル教育会館内
京都府連合青年団

鳥取—米子市彌生町国鉄米子地本内
鳥取県青年婦人会談事務局

愛媛—松山市中歩行町児童福祉会館内
愛媛県連合青年団

岡山—岡山県岡山市上之町五八 高原正太郎、
鹿兒島—鹿兒島県鹿兒島市鴨池町 鹿兒島大学教養学

山口—山口県山口市後河原原放組青年部内
山口県青年の集い事務局

徳島—徳島県徳島市徳島町教育会館内 高教組
和歌山—和歌山市雑賀屋町西の丁二八
和歌山県高教組

高知—高知県高知市追手筋高知大手前高教定期制内
高知県定期制高知平和連絡会談松岡直政

資料二、

○ 履歴書様式

※(記入にあつて読み誤りのあるような字にはフリガナをつけて下さい。)

- (1) 氏名 (フリガナ) (2) 通稱、号又は結婚前の氏名
- (3) 女性の場合は (3) 生年月日 (4) 出生地 (5) 本籍地
- (6) 現住所 (7) 身長 (メートル) (8) 体重 (キログラム) (9) 眼色
- (10) 頭髪色、髪おとその他の特徴 (11) 会社 官庁名 (12) 同
- (13) 英文 (附記) その所在地、代表者名、渡航者の地位
- (14) 自分 (公務員は級取) (15) 同英文 (附記) (16) 電話 (会社、自宅別) (17) 学歴 (18) 職歴 (19) 技術又は研究の略歴
- (20) 団体所属 (政治、学術、経済、宗教、親睦団体など) (21) その団体名 (英文名附記) (22) 所在地、地位、期間
- (23) 海外旅行の経歴、兵役服役中の海外駐在を含む
- (24) 満洲、中国、台湾、旧日本委任統治領、朝鮮、十島、樺太、琉球、小笠原諸列島の旧日本領及び占領地域への旅行も海外旅行と見做されます。兵役の場合には着左期間、その他、次項と一致するよう、御注意下さい (25) 旅券受領府県及び年月日、渡航先国、滞在期間、目的 (26) 横断 (27) 渡航者の国内連絡先並に本人との関係 (28) 氏名、住所、関係 (29) 自身許照会先
- (30) 親戚関係以外のもの (31) 三名の住所、氏名、職業
- (32) 婚姻関係 (既未婚の別) 結婚年月日

祭典に向けて

○ フィンランド首相とのインタビュ

K、A フォルブルム

問—第六回世界青年学生平和友好祭がこの夏モスクワで行われますかこの集りについて如何お考えですか？

答—若人達が一諾に集まるということは大変よいことだと思います。

問—フィンランドの若者も又フスナバルの準備をしていますがね、フィンランドの若者がこのフスナバルに参加することについての御意見は如何ですか。

答—フィンランドでは全ての若者がフスナバルの準備をしているのではありません、このことはスキと我が国のフスナバルの準備をしているイェルタの人々のせいであらう。しかしフスナバルのスポート委員会に参加するために、全てのスポート協会の代表達が必ずモスクワに行きます。

○ インドの映画スターも

インドの映画スター、ヌルラエ、カーニはワルツワズナバルの際の喜びと感興を呼び起しながら、モスクワ、フスナバルはきつと着てない程の成功をかち得ると確信していると語った。もう一度私達は旧友に会い又新しい友を得ることを大いに期待している。彼は力を込めて語った。

○ 南極探検隊からの挨拶

国家間の平和と友情の考えは、全ソビエツトの人々、この世界のゆるる国民達にとってと同様に我々極地の探検者にも親しいものである。故国から遠くはなれて南極で仕事をしても私達は一諾にフスナバルの準備をして居ります。国際地球観測年の間、我々は他国の科学者達と一諾に未だに多くのナメを有する第六大陸 (南極) のことを探検し現在の科学の知識に寄与するよう努力している。

若き科学者、飛行士、無線通信士、建築家、技師、その他の人々と一諾にここで働きながらも、我々は国家間の平和と友情を推進するといふ、フスナバルの目的を歓迎致します。それは私達自身の目的であり感情であるからです。

私達はモスクワ、フスナバルに集う青年男女に幸福強固な友情、人類の福祉に役立つ大担当職業と共にある仕事に満ち溢れる未来をお祈り致します。

アレクセイ トリオツニツ
ソ連南極探検隊

○ フスナバル放送をききましよう
モスクワ国際準備会では、各国語でフスナバル放送
を行つていきます。

時間 波長は次の通り
日本語放送

毎月の第二、第三、第四水曜日 日本時間午後九
時

五四八KC、六二八KC、八八一KC、七三一七
KC、九六七七KC、一ニ〇〇〇KC、一五七六
三KC、一八七五〇KC

◎ 金属産業におけるオートメーション

フスナバルで討論しませう

オートメーションは疑いもなく現今の一つの問題で
あつて金属関係の産業従事者の注目的である。事
実、オートメーションには後で見ていくように、復
雑で多岐の問題がある。我々はこの問題について固
際金属労働からの一種の手紙を受取つた。その手紙
の中に提起されている主な問題の二、三をみてみよ
う。

技術の進歩、向上しつゝある労働生産性、増大しつ
ある産業の集中化、科学的労働組織、機械化、オー
トメーションは之迄よりはるかに高度の技術訓練を
必要とする。その訓練は工業学校を通じて修得され
るものなのである。

多くの国々で工場改善と職業訓練はだんだん脱離に
昇りつゝある。このような訓練はそこで与えられるか
近代的技术の要求に応じてプロダラムが組み入れら
れぬ、専門学校でか、それとも大工場付属の特別
なセンターであろうか。このような方法の利便は、
学業と実習が密接であることに存する。然しなから、
ここに於ける保障、特に職業訓練をうけた若者たちが
単に補助的の労働者として使われぬ保障である。

オートメは各労働者が一般的基礎訓練を如何に必要
とするかを常に示していることは明白である。その
一般的基礎訓練は如何なる専攻方面の専攻にも相当
な程度まで及ぶものである。その結果、義務教育
の期間の延長が必要となつてくる。

年々、ますます多くの資格ある技術者が要求される
ようになつていくが、この分野の根幹となるものこ
そ青年なのである。

一方労働時間の短縮問題が提起されているが、こゝで
我々も、生産性労働強化、安全措置の問題にふれて
みよう。多くの国々、特にフランス、英国、イタリ
アでは若人たちは労働強化をされていくことは疑も
ない。オートメーションと機械化が労働条件を改善
するところか反対に、肉体的消耗、病気を引き起し
労働者の安全について責任を有する医療班はしばし
充分に注意することを怠つて、その発見があまりに
もあそび過ぎることがあることは一般に信ぜられてい
ることである。このような意見は進歩を否定する態
度を反映しているものであるか。勿論違ふ、我々
は問題は技術上の進歩を如何に労働者達の当然の要
求に適應させるかであると思う。大抵の若き労働者
にとつて最も重要なことは、技術の面で達成された
ことを社会的経済的面に実現することである。即ち
彼等はオートメが彼等の生活条件を改善することを
のぞんでいるのである。

我々は二、三の問題、殊に次の問題に關してオート
メにふれてみたのである。職業訓練、生産性、労働
強化、青年の健康。

この部向の産業における若き労働者たちはもつと他
にも要求を望み互もつていく。職業訓練に關する立
法とその実施、二〇才以下の者に余計休日を与える
こと、熟練工の賃金の或るパーセントを見習工に私
うという給与体系、激しい危険な労働に青年を採用
することを禁止等である。これららの問題のいくつか
は、フスナバルの集りで討論される筈である。

提案されていく問題は、技術とオートメーションの
発達に關連しての、金属産業の見通し。

◎ 先日朝日新聞はじめ各紙に報道された日本代表田村
加のため「配船」に關する共同運賃の二ユースは
関係方面に連絡した結果事実であることが確認され
た。費用その他詳細は目下常任委員会を検討中であ
り五日中に発表される予定である。

資料一に出された地方実行委員会(準備会)及び連絡先は
現在までに中央に報告された連絡先ですが、各プロック
は連絡をとりあつて果毎の代表数を早急にきめて報告し
て下さい。